

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-525066 (P2004-525066A)
 【公表日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-032
 【出願番号】特願 2002-591405 (P2002-591405)
 【国際特許分類第 7 版】
 C 0 3 C 13/00
 【F I】
 C 0 3 C 13/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

その組成が、質量パーセントとして表される下に規定される範囲において、以下の成分、即ち、

SiO_2	50 ~ 60 %
Al_2O_3	10 ~ 19 %
B_2O_3	16 ~ 25 %
P_2O_5	0.5 ~ 4 %
Na_2O	1.5 % 以下
K_2O	1.5 % 以下
R_2O	2 % 以下
CaO	10 % 以下
MgO	10 % 以下
F	0 ~ 2 % 以下
RO	4 ~ 15 %
その他	3 % 以下

式中、 $\text{R}_2\text{O} = \text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O} + \text{Li}_2\text{O}$ 、 $\text{RO} = \text{CaO} + \text{MgO}$

を含んで成る、強化用ガラスヤーン。

【請求項 2】

該組成が、 P_2O_5 1 %、及び / 又は、 P_2O_5 3 % であるようなリン (P_2O_5) の含有量を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のガラスヤーン。

【請求項 3】

該組成が、 CaO 8 %、及び / 又は、 CaO 2 % であるような石灰 (CaO) の含有量を有することを特徴とする、請求項 1 及び請求項 2 の何れか 1 項に記載のガラスヤーン。

【請求項 4】

該組成が、 MgO 8 %、及び / 又は、 MgO 2 % であるようなマグネシア (MgO) の含有量を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載のガラスヤーン。

【請求項 5】

該組成が、 B_2O_3 18%、及び/又は、 B_2O_3 22%であるようなホウ素(B_2O_3)の含有量を有することを特徴とする、請求項1～4の何れか1項に記載のガラスヤーン。

【請求項6】

請求項1～5の何れか1項によって規定されるガラスヤーンを含んで成ることを特徴とする、ガラスヤーンと有機及び/又は無機材料の複合物。

【請求項7】

プリント回路基材を製造するための、請求項1～5の何れか1項によって規定されるガラスヤーンの使用。

【請求項8】

1つ又は複数のブッシングの底部に配置された多数のオリフィスから流出する多数の溶融ガラス流が、連続ヤーンの1つ又は複数のウェブの形で引き抜かれ、次いで、フィラメントが1つ又は複数のヤーンに寄せ集められ、移動支持体の上に集められる、請求項1～5の何れか1項に規定されるガラスヤーンを製造するための方法。

【請求項9】

1つ又は複数のブッシングのオリフィスに送り込む溶融ガラスが、質量パーセントとして表される以下の組成、即ち、

SiO_2	50～60%
Al_2O_3	10～19%
B_2O_3	16～25%
P_2O_5	0.5～4%
Na_2O	1.5%以下
K_2O	1.5%以下
R_2O	2%以下
CaO	10%以下
MgO	10%以下
F	0～2%以下
RO	4～15%
その他	3%以下

式中、 $R_2O = Na_2O + K_2O + Li_2O$ 、 $RO = CaO + MgO$ を有することを特徴とする、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

質量パーセントとして表される下に規定する範囲において、以下の成分、即ち、

SiO_2	50～60%
Al_2O_3	10～19%
B_2O_3	16～25%
P_2O_5	0.5～4%
Na_2O	1.5%以下
K_2O	1.5%以下
R_2O	2%以下
CaO	10%以下
MgO	10%以下
F	0～2%以下
RO	4～15%
その他	3%以下

式中、 $R_2O = Na_2O + K_2O + Li_2O$ 、 $RO = CaO + MgO$ を含んで成る、強化用ガラスヤーンを製造するのに適したガラス組成物。